

2026年3月JTAトピックス

日本テコンドー協会、新師範代誕生！
師範代 趙哲来、 師範代 廣川禎教

2025年夏から2026年春にかけて、日本テコンドー協会師範代審査会が

- ①蹴武の型実技審査
- ②指導技術審査
- ③蹴武の型論文審査
- ④蹴武の型口述審査

の順で実施されました。

河 明生宗師範から指名を受けた
趙 哲来四段(横浜鶴見テコンドークラブ長等)及び
廣川禎教四段(長崎県テコンドー連盟会長等)が受験し合格しました。



この度、師範代を拝命致しました横浜鶴見テコンドークラブの趙哲来です。

14歳で始めたJTAテコンドーも、気づけば30年という年月が経ちました。ここまで稽古を続けてこられたのは、熱心にご指導くださった武田師範、共に汗を流した道場や他のクラブの仲間たち、そしていつも温かく見守ってくれた家族や周囲の支えがあったからこそです。

改めて深く感謝申し上げます。

30年の歩みの中で得た最大の財産は、「人とのつながり」です。地元である横浜や川崎はもちろん、福岡・九州、その他試合や遠征で出会うクラブの人たちとの交流を通して、様々な体験・経験をさせていただきました。

今後、生涯武道としての「日本テコンドー」を全うする上でも、より一層大切にしていきたいです。

師範代という身に余る大役をいただき、身の引き締まる思いです。これからはこれまで以上に自分自身の鍛錬も怠らず、河会長やクラブ長達を支え、次世代のクラブ長や指導員を育てて行けるように精進いたします。

師範代 趙 哲来

このたび日本テコンドー協会の師範代を拝命しました。身に余る大変光栄な思いです。

入門した当初は、自分がここまでテコンドーを続け、さらには指導に携わるようになるとは想像もしていませんでした。これまでご指導いただいた河宗師範をはじめ、師範、師範代、クラブ長、先輩、仲間の皆さまのおかげと、心より感謝しております。

私は20年以上、仕事と両立しながらテコンドーの練習と指導を続けてきました。決して楽な道ではありませんでしたが、職場とは異なる環境に身を置くことで、職業人としてだけでなく、一人の人間として広い視野を養うことができたと感じています。黙想で心を整え、練習を通して自分の身体と向き合い、そして年齢を問わず多くの道場生と関わることで、心身ともに成長する機会をいただきました。

これからも「生涯テコンドー」の精神で、心身を鍛え続けながら、多くの道場生に蹴り技の素晴らしさや美しさを伝えるときともに、人としての成長を支えられるよう、師範代として一層精進してまいります。

師範代 廣川禎教